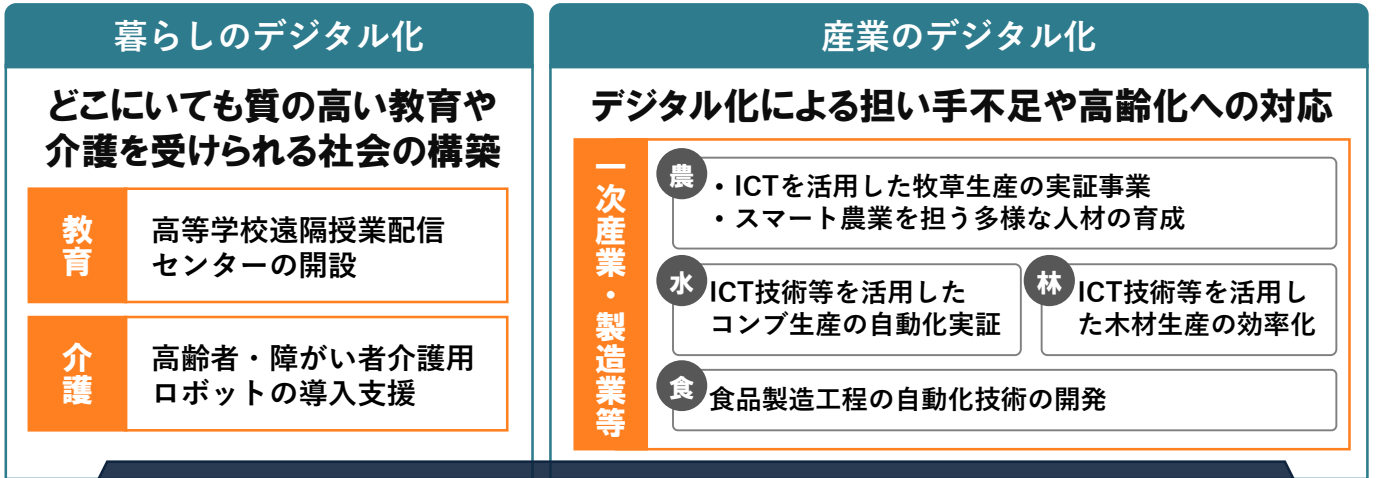
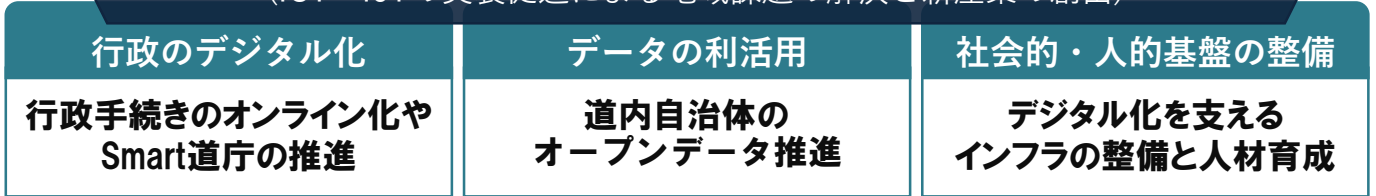


Ⅱ-1 デジタル化の推進による「北海道Society5.0」の実現



オール北海道による「Society5.0」の実現

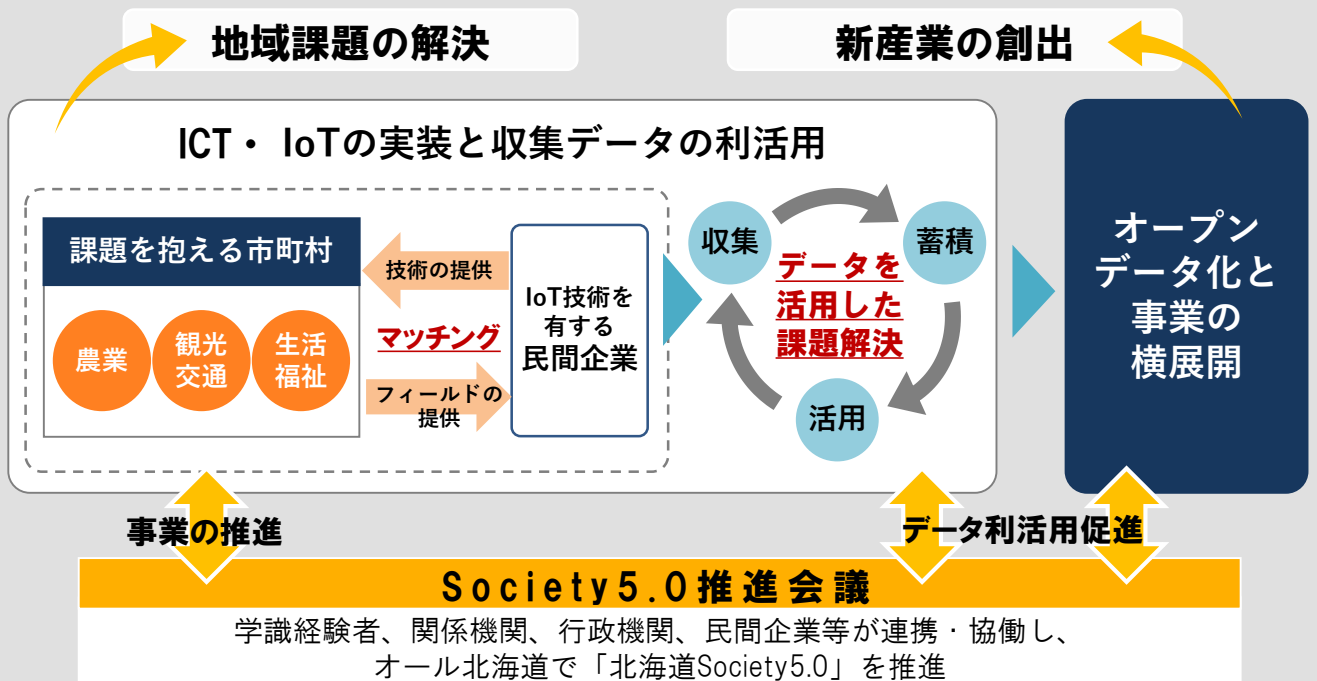
(ICT・IoTの実装促進による地域課題の解決と新産業の創出)



デジタル化で「広域分散」「距離」のハンディを強みに転換

地域におけるICT・IoTの実装促進

北海道Society5.0の実現



II-2 多様な主体との連携・協働による企業や人材の誘致

戦略的な企業の誘致

リスク分散・サプライチェーンの国内回帰等の流れ

ターゲットを絞った誘致活動の展開

本社機能 データセンター 生産拠点
 サテライトオフィス 自動運転開発拠点

移住・Uターン関心層の取り込み

密への不安・地方への関心の高まり

首都圏在住の
大学生・若年層

情報発信

市町村等

マッチング



ニール森北のチカラに

ほっかいどう応援団会議のネットワークの活用

北海道型ワーケーションの推進

テレワークの普及
 場所にとわれない働き方への関心の高まり

オンリーワンの
ワーケーションポテンシャル

空間 食 自然

オール北海道での
受入環境づくり
・プロモーション

北海道型ワーケーションの推進

豊かな
自然環境

サテライト
オフィス
開設企業数
日本一

12年連続
魅力度
全国一位

道内市町村の
6割強が
受入に意欲

魅力溢れる
食や観光

北海道のワーケーションポテンシャルを最大限活用

受入環境づくり

- ・市町村によるワーケーションプラン作成
- ・地域資源を活用した受入環境整備

プロモーション

- ・道内及び首都圏での集中プロモーション
- ・PR動画の制作・活用

観光地・
宿泊施設

森林

自然公園

食

コーディネート

道内
企業
首都圏
企業

相談

ニーズに応じた
プランの提供

北海道
ワンストップ窓口

情報提供・受入支援

企業ニーズの提供

道内
市町村

マッチング

II-3 本道の特性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦

北海道地球温暖化対策推進計画

北海道省エネルギー・新エネルギー
促進行動計画

一体的に推進

脱炭素モデルの創出・普及

道民一人あたりのCO2
排出量が全国の約1.3倍

- 地域の脱炭素モデルの可視化
- 道職員の率先行動

省エネ・新エネの導入促進

全国有数の賦存量を誇る
再生可能エネルギー資源

- 地域の省エネ・新エネ導入の加速
- 水素関連の産業化促進
- 道有施設・住宅のCO2削減の取組推進

森林吸収源対策の推進

全国の22%を占める
森林資源を保有

- 森林資源の循環利用を確立



排出量の削減

吸収量の確保

2050年
ゼロカーボン
北海道の
実現

脱炭素モデルの創出・普及

モデル地域掘り起こし (R3)

調査
分析

- 資源ポテンシャル
- 生活・移動手段の実態
- 障壁となる地域課題
- CO2排出原因分析

可視化

検討

- 分野・業種別の取組検討
- 活用可能な助成・融資制度

庁内推進体制の強化

北海道気候変動対策推進本部にPTを新設

- ・ゼロカーボンに向けた道内の状況分析と課題の可視化
- ・関連する計画、事業の一体的な実施に向けた検討など

モデル構築 (R4~)

取組の実践

協議会

市町村・事業者・金融機関等

全道展開

産学官金による支援



II-4 アイヌ政策の推進と縄文文化など地域資源の魅力発信



縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組と活用の推進

北東北3県との連携による登録に向けた取組

R3(2021)年5月頃 イコモス による 勧告
6～7月頃 ユネスコ世界遺産委員会において
世界遺産登録の可否決定の見通し

- ・ 推薦書審査への対応
- ・ 普及啓発の実施

道内遺跡群の価値の磨き上げ・認知度向上

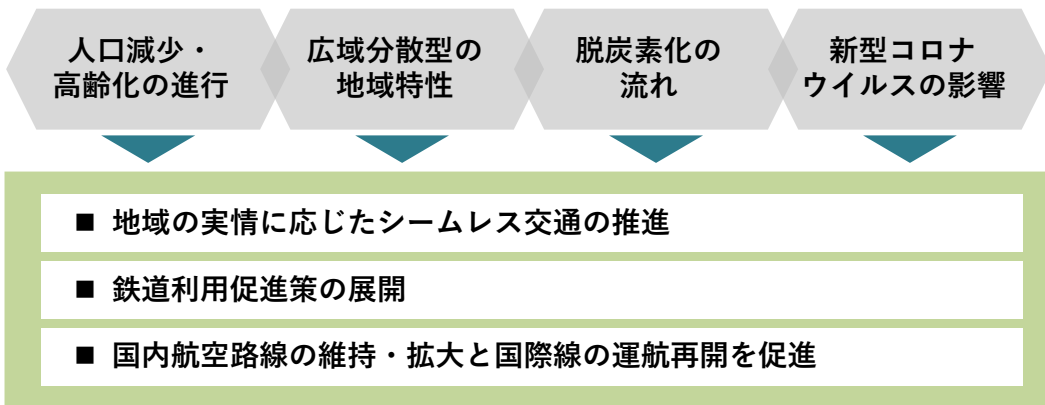
- ・ 共通キャッチフレーズを活用した気運醸成
- ・ 縄文文化に対する道民理解の推進、学校教育と連携した価値の継承
- ・ アドベンチャートラベル・ワールドサミットなどの機会を活かした魅力発信
- ・ 道内統一ガイドの養成など来訪者を受け入れる体制の整備

未来へつづく、
一万年ストーリー。

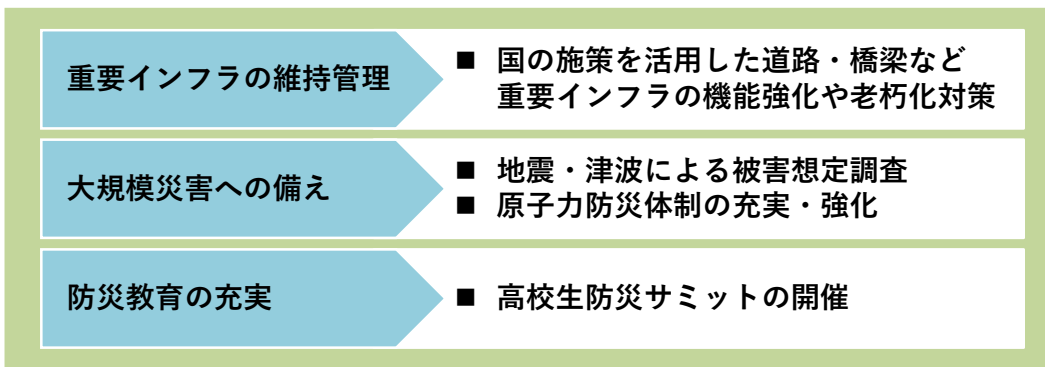
新たな「価値」を創造し地域に交流と賑わいを創出

Ⅱ-5 持続可能な交通・物流ネットワークの形成と強靱な北海道づくり

持続可能な
交通・物流
ネットワーク
形成



強靱な
北海道
づくり



地域の実情に応じたシームレス交通の推進

多様な主体の連携強化による、利便性が高くストレスのない公共交通の実現

広域的「公共交通計画」の策定促進

- 地域間を結ぶ広域交通と生活圏交通の有機的な連携による交通体系の最適化

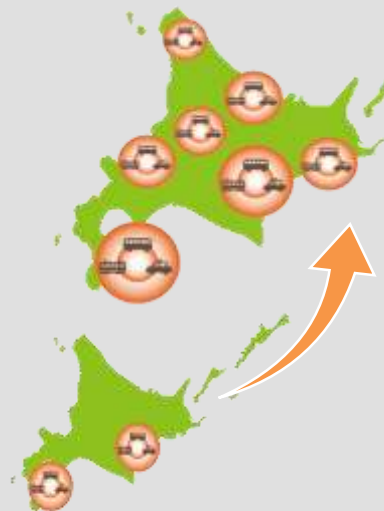


事業者間の連携体制構築

- 「路線の運用」を事業者間で検討するため、会議体を設置するなど、連携体制の構築・強化を図る
- ダイヤの接続の見直し、共通フリー切符の造成、MaaSの活用など、利便性向上や生産性向上の取組を展開



先進地域での事業展開



先行事例の深化と
その全道展開

II-6 次代を担う人づくりと誰もが能力を発揮できる社会の実現

地域を支える
人材の育成

地域で学び
地域で働く
人材の育成

- ・ 高校・自治体・産業界等の協働による地域課題探究型学習の実施
- ・ ICTや産業ロボットの技術を活用した、高校での実践的な職業教育

暮らしと
産業を支える
担い手の確保

- ・ 医療・福祉人材の確保と業務改善の推進
- ・ 農林水産業や観光、食・ものづくり産業、建設業への理解・就業促進

多様な
方々の
活躍促進

- ・ 若年者、女性、中高年齢者、障がいのある方、外国人など多様な働き手の就業支援や職場定着を促進

就労環境の
整備・改善

誰もが
働きやすい
環境づくり

- ・ 仕事と家庭の両立に向けた働き方改革推進のための普及啓発
- ・ ICT等による業務改革の推進

➡ **本道の産業・地域の持続的な発展**

医療・福祉人材の確保と業務改善の推進

- 全国を上回るペースで進行する人口減少・少子高齢化
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療・福祉ニーズが増大・多様化

人材の安定的な確保の一層の促進に向けた新たな取組

医師

- ・ 勤務環境改善の支援

- 勤務医が働きやすい職場づくりに向けたICT等による業務改革の推進

看護職員

- ・ 新規養成者の確保、就業定着
- ・ 地域や不足分野への誘導

- 看護職員養成修学資金の拡充

介護職員

- ・ 労働環境・処遇改善
- ・ 参入促進

- 働きやすい介護職場の実現に向けた評価制度のモデル的運用

保育士

- ・ 就業や職場定着の促進
- ・ 職員の資質向上

- 保育士等のキャリアアップによる保育人材確保

Ⅱ-7 域内循環・国内需要の取り込みと力強い農林水産業の確立

道内の経済循環と国内需要の取り込み

巣ごもり需要
にも対応した
道産品の
域内循環・
販路拡大

愛食・食育・地産地消の取組
を推進

道産食品のブランド力強化と
販路拡大

アンテナショップやネット
通販での割引販売

道内・国内
における
観光需要等の
取り込み

〔
感染動向を
慎重に見極め実施〕

マーケティングの強化による
国内誘客の促進

「どうみん割」・「ぐるっと
北海道」による消費喚起

市町村が発行するプレミアム
付商品券の発行支援

農林水産物の安定的な生産・供給体制の確保

食料の安定供給や
環境保全への貢献

- 農家負担の軽減による農業生産基盤整備の促進
- 道産和牛など農林水産物の高付加価値化
- 栽培漁業の推進による秋サケなど主要魚種の資源回復
- 植林への支援をはじめとした森林整備や道産木材の利用促進

アンテナショップやネット通販での道産品割引販売

実施期間：R3年5月～R4年2月

プレミアム付商品券の発行

利用可能店舗	どさんこプラザ（7店舗）・百貨店（37店舗）
対象商品	道産品
プレミアム率	40%（券面額7千円を5千円で販売）

ネット通販等での割引販売

利用可能サイト	どさんこプラザ・百貨店の通販サイト等
対象商品	道産食品
割引率	30%

巣ごもり需要に
対応し、道産品の
国内販路を
開拓・拡大

Ⅱ-8 道産食品の輸出拡大など新たな市場への展開

コロナ禍による各国の
市場動向の状況変化

国の輸出拡大実行戦略

輸出品目や輸出先国の重点化による道産食品の輸出拡大

国の産地指定品目



道独自の主要品目



アジア地域等における巣ごもり（内食）需要への対応強化

デジタル技術を活用した道内企業の海外展開支援

デジタル技術を活用した道内企業の海外展開支援

人材
育成

機会
創出

実践

道内企業のデジタル対応力強化・商流構築



育成

オンライン国際取引等の
研修会

連携

海外展開を検討する
道内企業と海外企業等の
マッチング

ECやオンライン商談による販売促進



海外現地ECサイトでのテスト販売

オンライン商談会の実践

海外アンテナショップでの
フェアに合わせたネット通販

SNSや特別Webサイトでの
道産品PR

Ⅱ-9 徹底した感染防止対策による国際大会の受入れとインバウンドの再獲得

徹底した感染防止対策による東京2020オリンピック札幌開催の準備

来道者への
感染予防対策等
の情報提供

選手団等の
受入体制整備

安全で確実な
競技開催

大会開催への
理解促進

魅力発信

取組の成果をレガシーに

感染防止対策の
ノウハウ蓄積

安全・安心な
北海道のPR

多言語化など
外国人対応の強化

海外との往来の本格再開を見据えたインバウンドの再獲得

感染状況に応じたプロモーション

北海道エアポートや
エアラインと連携した
「**HOKKAIDO LOVE!**」
プロモーション

観光資源の磨き上げ・受入体制整備

周遊観光の
利便性の向上

アドベンチャー
トラベルの推進

食と観光の
魅力発信

感染症対策・新北海道スタイルの徹底

感染防止対策を徹底したオリンピック競技の開催

聖火
リレー

選手
受入

魅力
発信

競技
開催

感染防止対策の徹底

聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバル

- 公道やセレブレーション会場に応じた感染防止対策の徹底

ホストタウン等との連携による選手団の受入れ

- 感染防止対策マニュアルの策定
- 選手団や市町村職員等に対するスクリーニング検査の実施
- 関係機関と連携した医療提供体制の構築

食・観光・文化など本道の魅力発信

- マスク着用や3密防止など「新北海道スタイル」の実践
- 入場者の検温や手指消毒など、イベント等での感染防止対策の徹底

大会組織委員会との連携による安全・安心な競技の開催

- 感染防止対策を徹底し、アスリート・大会関係者等を受入
- 関係機関と連携した医療提供体制の構築